



ほろいずみ ニュース No. 149

発行: えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館 発行日: 令和元年12月24日
〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜207番地
TEL: 01466-2-2410 E-mail: erimomus@cocoa.ocn.ne.jp
<http://www.town.erimo.lg.jp/horoizumi/>

郷土資料館講演会のお知らせ！！



郷土資料館講演会

[身近な昆虫について]

令和2年 1月22日(水) 18:30～20:00

- 場 所: えりも町福祉センター 中会議室
- 講 師: 帯広百年記念館 学芸員 伊藤 彩子氏
- 問合せ: えりも町郷土資料館 [TEL:01466-2-2410](tel:01466-2-2410)
- 内 容: 身近な昆虫について

・ 普段生活している中で、意識せず通り過ぎている昆虫。ペットとして飼育されている昆虫。人に嫌われている昆虫など、身近な昆虫についての講演会です。

地名の由来 ～近浦～

近浦は、もともと近呼村（チカヨップ村）と呼ばれており、近浦のバス停付近を流れる小川（チカヨップ川）あたりの地名でした。

チカヨップの原名は「チカイエプ」でそれが訛(なま)り「チカヨップ」になったものと考えられます。

チカイエプの語源は「チ・カイエ・プ」(Chi-kaye-p われら・折った・もの)という意味があり、プ(もの)は弓のことで、何かの理由で弓を折ったという故事によって地名となったと言われていますが、「路の曲がったところ」という説もあります。

松浦武四郎は「昔、悪いことをした者の指を木にくくりつけ置いたが、そのまま折れたという事」と記しています。



写真：旧近浦共同作業所横を流れるチカヨップ川



写真：近浦地区

幌泉灯台記念塔 (国指定登録有形文化財に)

12月5日、文化庁の国指定登録有形文化財に正式登録される。

幌泉灯台記念塔は、当時幌泉村だった昭和3年(1928年)10月に、鉄筋コンクリート製の2代目灯台として建て替えられた。

その後、港周辺に住宅や街路灯が整備されるなど、町が発展するにつれて灯台の灯りが町の明かりと交錯した。

そのため、沖の船から区別がしづらく、昭和53年(1978年)に観音山(住吉山)に3代目幌泉灯台が建設され、灯台としての役割を終える。

2代目灯台が撤去されることを知った町は、国から灯台を譲り受け、灯台山を切り開き、えりも港整備で造成した。

「初代幌泉灯台記念塔」はその公園内に設置され、当時の姿のまま、えりも町が保存している。



幌泉灯台としては2代目の「幌泉灯台記念塔」

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|--------------|----|-----|----|----|----|-----|----|----|-----|--------------|-----|-----|
| 1/1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| 年末年始 休館 | 年末年始 休館 | 年末年始 休館 | 年末年始 休館 | 年末年始 休館 | ○ | 休館日 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休館日 | ○ | ○ | ○ |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 2/1 | 2/2 | 2/3 |
| 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 |
| ○ | ○ | ○ | 休館日 | 郷土資料館 講演会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休館日 | ○ | ○ | ○ | わらしやんど 事業 | ○ | ○ |

1月～2月の
開館カレンダー